

新交通体系と観光に関する調査特別委員会（第4回）

令和3年8月30日（月曜日）午後3時54分開会

○案件

1. 今後の調査事項、要求資料について
 2. その他
-

○出席委員（9名）

委員長	横田 有 一	副委員長	川 上 弘 一
委員	池 田 誠 悦	委員	稲 垣 明 美
委員	畑 中 静 一	委員	長谷川 生 人
委員	澤 出 明 宏	委員	中 島 勝 也
委員	若 山 雅 行		

○欠席委員（0名）

○委員外議員（0名）

○出席説明員（0名）

午後 3時54分 開会

○横田委員長 それでは、新交通体系と観光に関する調査特別委員会、第4回。

前回は、町内の視察、研究ができることを皆さんのほうでありましたら出してくださいということでありました。それで、実際に若山委員から要望書が出ています。

事務局のほう、よろしくをお願いします。

○広部議会事務局長 それでは、若山委員から提出のありました要望書を読み上げてまいりたいと思います。

7月15日の第3回委員会において、委員長より各委員に提案のあった委員会の今後の進め方等の要望として以下のとおりお取り上げいただきたく、ご検討よろしく願いいたします。

1番、現地視察について。観光資源としての魅力を確認するため、前回の北海道新幹線等新交通体系と観光資源の利活用に関する調査特別委員会では取り上げられなかった次の場所を現地視察したい。

1番目、箱館醸蔵。2番目、はこだてわいん。3番目、函館七飯 Gondola。

2番目、参考人招致について。七飯町議会委員会条例第25条の2の規定を活用し、次の観光地の責任者に集客や魅力発信の戦略や町への要望事項等について意見を聴く機会を設けたい。

1番目に道の駅なないろ・ななえ、2番目、ダンシャク・ラウンジ。3番目、函館大沼プリンスホテル。4番目、鶴雅リゾート・エパイ。5番目、函館七飯 Gondola。

以上でございます。

○横田委員長 ありがとうございます。

暫時休憩させていただきます。

午後 3時56分 休憩

午後 4時11分 再開

○横田委員長 休憩以前に引き続き、再開します。

ただいま皆様のご意見を聞いた中で、参考人招致については、まだ、時期尚早ではないかということで、皆さんももう少し煮詰めてからやっていくということで、まず現地視察をやって、その

中で当然その会社のトップの方が出てくるのだから、それなりの意見交換とかというのは、しなくてはいけないと思うので。その中でどういうふうな中身がある、今のどういう状況であるのかという話が出るのではなからうかと思うのですけれども。まず、委員長としては、現地視察を優先するというふうに進めていきたいと思うのですけれども、それでいかがですか。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、その方向で行きたいと思えます。

それでは、若山委員から出ている1番目の箱館醸蔵。2番目のはこだてわいん。3番目の函館七飯 Gondola。この三つが出ていますけれども、あと、どこかありますか。

畑中委員。

○畑中委員 今、各委員からお話聞いている中で、やはり若山委員の言われた会議の名称、タイトルね。参考人招致というのはやはり堅いと思うし、これもうちょっと柔らかい、語らいの場というのでしょうか、町民と経済界の語らいの場でもいいだろうし、色々な名称があると思うのですよ。そしてまた、この5つの企業だけではなく、観光というのは、先ほど池田委員も言われておりましたが、農業もあるだろうし、色々な角度からみんな知恵を出し合って、その知恵を出し合った中で連携をして、より良い七飯町の観光の発展のために動くべきではないかなと考えますので、委員長どうぞよろしくお取り計らいの上、お願いいたします。

以上です。

○横田委員長 ありがとうございます。

中島委員。

○中島委員 私も現地調査については、大賛成で見るといいかなと思うのですけれども。ただ見るだけではなくて、この委員会は、観光に関する特別委員会ですから。この企業が観光事業とどういうふうに関わり付けていくのか。そういう議題をしっかりと持って、相手方に伝えて。例えば、箱館醸蔵行っても、それをただ作っている凄いい酒が美味しいねではなくて、それを観光とどう結びつけてい

く考えがあるのかとか。

そういうことをきちっと、こっちのほうの題目を決めて、調査する内容を決めて、報告をしておいて、そして現地を見せてもらって意見交換をするということをししないと何も意味もないので、ただ見てくるだけでは、どうしようもないので。

それをいかに七飯町の観光とこの企業と結び付けていくのか。どういうふうにお客さんと呼ぶのか。そういうような手腕とか、そういうものをしっかり調べる必要があるのかなというふうに思いますので、是非その辺も含めて検討していただきたいと思います。

○横田委員長 あとありますか。

稲垣委員。

○稲垣委員 先ほどもちょっと言ったのですが、1つの町で日本酒、ワイン、ビールってなかなか無いと思いますので、どうせ現地視察できるのであったら、3つ行けたらいいのかなと思いました。

以上です。

○横田委員長 あとよろしいですか。

今、具体的に出たのが、若山委員から出た3つと稲垣委員から出た大沼ビール。この4つということで。

前回、皆さんには、どこか視察はないですかということで、他のところは今の話を聞いてもなかったもので、まずはこの四つを見に行き、どういうふうな視点で見ていったらいいのかというところを煮詰めていって、進化させながら、次を進めていくという流れでいかがですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、この4つに絞って視察をしたいと思います。

視察につきましては、9月の定例議会が終わったあとで、1回この4つについては下知識を皆さんのほうに出して、どういう視点でというものも出しながら、視察日を決めていきたいと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、その辺は委員長、副委員長、事務局に任せていただきたいと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、その他ありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、本日の新交通体系と観光に関する調査特別委員会の4回目を終わらせていただきます。

ご苦労様でした。

午後 4時17分 散会

